



明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

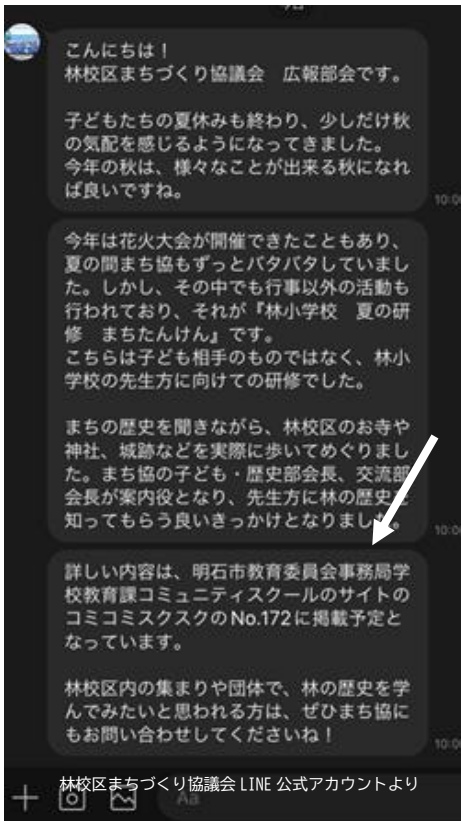
For The Future

No. 174

2022

9.7

## LINE 公式アカウントって



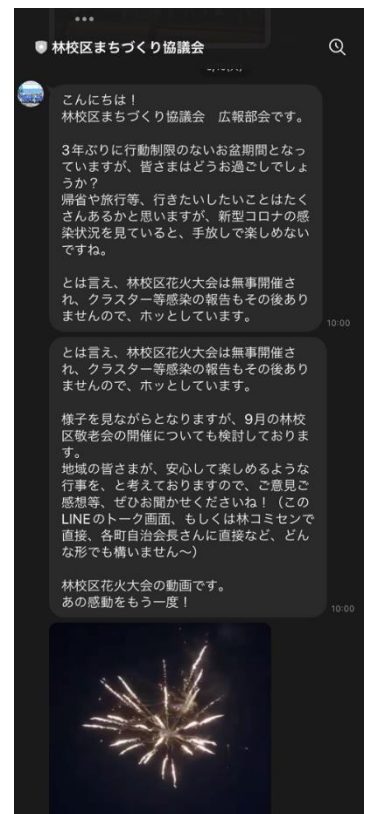
“コミコミスクスク No.172” は林小学校の先生たちが校区の歴史など、まち協の方の案内で、林小学校区のまち探検をおこなった時の様子を紹介させていただきました。その紹介記事を林校区まちづくり協議会の LINE 公式アカウントに取り上げていただきました。今回の「林小学校 夏の研修 まちたんけん」はあくまでも教師向けの研修でしたが、「林校区内の集まりや団体で、林の歴史を、学びたいと思われる方は、ぜひまち協にもお問い合わせください」と書かれていますが、学校と連携した試みを、地域の学びとしても広げていこうとされているのはとっても面白いと感じました。学校で地域単元を開発し、子どもたちが地域を学び始めたとき、それと連動した大人の地域の学びも始まり、それがつながっていったらと、またまた妄想が広がってしまいました。学びはつながる中で、深まっていくものだと考えます。子どもたちが大人から学び、大人も子どもたちから学ぶ、そんな学びがこれからは必要なんだと考えます。そうした時に、LINE 公式ア

アカウント等の情報発信ツールは人と人、活動と活動をつないでいく役割をはたしていくんだろうなと思いました。



コミコミスクスクページ Twitter ページ

私も中学校コミセンやまち協さんの LINE 公式アカウントを友達登録しています。登録しているところからは、情報が手元まで届いてきます。この夏、まち協さんが実施した花火大会の様子などを動画で見ることができ、“こんなことができるんだ”とびっくりしました。まち協さん同士が LINE 公式アカウントで情報発信しあい、つながりながら、刺激しあって切磋琢磨しているように思えます。また、この夏、こうした花火大会など地域のイベントに、校区の中学校の生徒がボランティアとして個人的に、また、部活単位で参加したということ



林校区まちづくり協議会 LINE 公式アカウントより

も聞いたりします。地域の中で子どもが学ぶ機会を積極的に作られているように感じます。「社会に開かれた教育課程」を考える時、地域の中での学びが、学校での学びとどのようにつながっていくかを考える視点が必要だと思います。学校として、地域とつながるという意味でも、学校からの地域への情報発信をどうおこなっていくかを考える時期がきているんだと思います。

PS:先ほども、江井島まち協さんのLINE公式アカウントで、NHK 夜ドラで、江井島で撮影された場面が13・14日に放映されるという情報が入ってきました。いろんな活用ができるんですね。

## こんな学校も インスタグラムで情報発信

CHANTOWEB という情報サイトでこんな見出しで紹介されている学校があります。

- ① 毎日「インスタで情報発信」保護者の理解を深めた公立小学校の取り組み (2022.08.30)
- ② 「PTA やりたい！」定員の1.7倍も保護者が殺到する小学校の改革 (2022.08.31)
- ③ 公立小学校が「インスタで情報発信」保護者や地域と信頼関係を築く力に (2022.09.02)

それは、横浜市立山内小学校という学校です。すでに知っておられる方もおられると思いますが、「誰一人取り残さない学校」をスローガンに「校内フリースクール」をつくるなど、現場からの改革を進められている学校です。そうした教育現場での改革を進める上で、日々の子どもの様子だけでなく、教師の信念や思いなども含め、日常を伝え、保護者の皆さん、地域の皆さんに、学校についての理解を深めていただくことは必要であると考え、インスタグラム等での情報発信を始められたようです。これらの記事を読みながら、日々“発信できる情報”があるのはすごいと感じました。こうした“学校のうり”情報は改めて多くの人に目にさせていただいてこそ、生きてくるものだという事をこの記事から勉強させていただきました。学校からの情報発信だけでなく、これからの学校の在り方を考えるうえで、山内小学校の取組はいろいろと参考になるのではと思います。

「守備に徹することは大事であり、手堅い学校であることは確かによいことですが、その分、前例踏襲となり、チャレンジすることが少ない学校であるように感じました。そして、保護者の顔を気にしすぎたり、失敗を恐れすぎたりしている面も多くあったように思います。私はもっと楽しい学校にしたい、もっとワクワクする学校にしたいと考えるようになりました」

山内小学校の佐藤正淳校長先生の言葉ですが、ワクワクする学校だから子どもだけでなく、教師も育つ学校になっていくんだろうなと思いました。



①



②



③



インスタ

QRコードから一度アクセスして、のぞいてみてください。

## コミちゃんねるを開設します



本市でも、YouTubeに「コミちゃんねる」を開設しました。コミュニティ・スクールの、理解を深め、興味を持っていただくために活用していただくことを目指しています。まだ、動画はアップされていませんが、現在、社会の状況や若者の意識面から、「今、なぜ、コミュニティ・スクールなのか」を考える「コミュニティ・スクールって何？その1」を作成しています。近日中にはアップのご案内ができると思います。コミュニティ・スクールだけでなく、社会に開かれた教育課程関係の動画もアップできたらと考えています。

(文責：北本)